

東京剣連より



第90号

Tokyo Kendo Federation News



第61回東京剣道祭

直心影流之形 法定
井上 豊
石井 征
五行之形
谷口 茂樹
永嶋 加代子



小野派一刀流演武(左:庄嶋 卓司 右:中山 竜一)



居合道演武(左から 市川学 教士 伊藤 繁男 教士 畠中 篤美 教士)



杖道演武(左:力武 公平 教士 右:阿部 修 教士)

- デジタル化/AIの浸透 太田健一郎 1
- 新役員 3
- 令和2年度決算 5
- 令和3年度予算 6
- 加盟団体の段位別・登録者集計報告 7
- 東京都剣道段位別受審者(申込者)数の推移 8
- 令和2年度事業報告 9
- 大会記録・報告 10
- 全日本女子剣道選手権大会優勝で
都知事を表敬訪問..... 諸岡温子 16
- 審査会報告 17
- 「生涯剣道」と「お口の健康管理」㊦..... 岡本 徹 20
- 居合道部会活動報告 伊藤 繁男 22
- 杖道部会活動報告 釣賀敏郎 22
- 支部活動報告 23



デジタル化／AIの浸透

東京都剣道連盟

副会長 太田健一郎

去る6月中旬国体の関東ブロック大会が宇都宮であり、役員や選手の皆さんと行って参りました。会場は宇都宮の駅から南へ約7キロ下ったところにある完成して間もない新しい武道館で、柔剣道向けに2道場と弓道場が設けられています。試合の結果については別に報告があると思いますが、そこで試合場での組合せや結果の掲示にデジタル技術が使われていました。本日はこれを話題に剣道界におけるデジタル化を考えてみたいと思います。新型コロナウイルスによって、デジタル化が一気に進んだと言われています。過去10年分の変化がこの1年に起こったということです。

当日は試合場3コートと会場内数カ所に縦2メートル横4メートルくらいの大型の電子表示板があり、その他に役員席にタブレットが10人に1台くらいずつ配置されており、こちらでも操作すると試合の結果を見ることができました。

チーム名や選手名はあらかじめ入力されていて、その表示に

沿って取得技、反則、延長、勝敗などが現場で入力されていきます。すると、それが会場内すべての画面に表示され、誰でも試合結果を知ることができます。タブレットは若干の操作が必要ですがそう難しいものではなく、試合（成年女子とか少年男子とか）と組（各種目とも2組に分かれて総当たりで予選を行い、各組勝者同士で優勝と3位が決定される）を指定すると直ちにその時点での結果が表示されます。

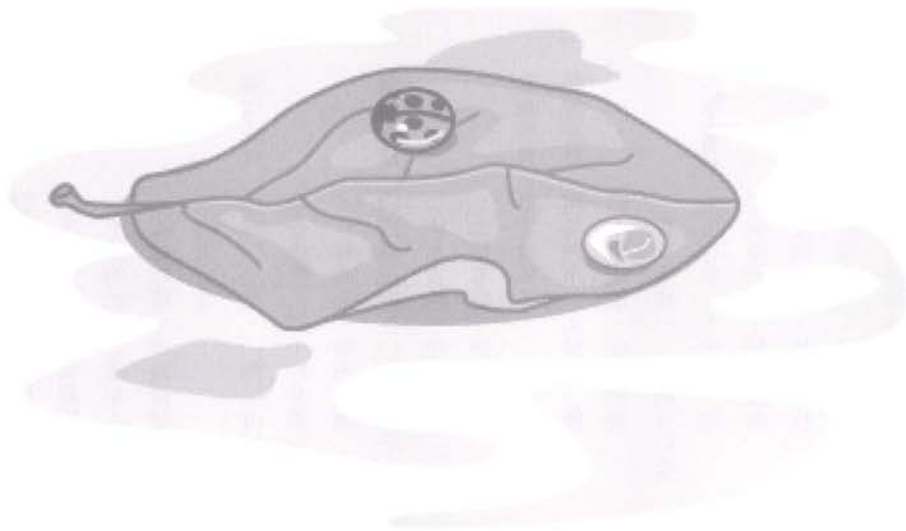
試合の運営に携わった方は経験がおりだと思えますが一つの大会の運営には多くの人が関与します。選手、審判、監督は勿論のこと、時計係、記録係、掲示係、呼び出し、そして試合結果は本部、役員にとどまらず司会進行係、賞状作成者や賞品を用意する人、などに正確に伝えられる必要があります。デジタル化の良いところが、これらの結果が一瞬で関係者に間違いなく伝わり、また、記録にも残ることです。

これだけのシステムを開発し、機材を用意するには相当の費

用がかかったものと推察されます。模造紙、黒ペン、白板などであればほとんど費用はかからないので、それだけのお金をかける価値があるかについてはいろいろな意見があると思います。ただ、ITコストは急速に下がっていきますので、いずれはこのような電子表示が珍しくなくなると思われます。

一つのポイントは、実技にこのようなデジタル判定が入ってくるかどうかということでしょう。体操競技の判定は審判員が採点しそれを集計する形で行われています。今から10年ほど前の世界選手権で誤審があったと言われていますが、以来この映像での判定について研究が始められ、かなり試行錯誤があったらしいのですが、現在では正式に大会で採用されていると聞きます。野球や相撲ではビデオ判定が取り入れられました。囲碁ではトッププロもAIには3子置くくらい差がついてしまいました。

剣道普及の上で、納得のいく判定は、重要なテーマです。遠からず、剣道の実技にもデジタル、AIが取り入れられるのではないだろうか、一つ問題提起をさせていただきました。



東京都剣道連盟

令和三・四年度新役員

(順不同・敬称略)

《理事》

会長 千葉胤道

副会長 太田健一郎

同 久保木 優

専務理事 安部 壽和

常任理事 西川清紀

同 吉岡成子

同 右田重昭

同 原嶋茂樹

同 寺地賢二郎(警視庁)

理事 村井憲司(中央ブロック)

同 風間順一(城東ブロック)

同 清水宣治(城西ブロック)

同 土田朝弘(城南ブロック)

同 増田勲治(城北ブロック)

同 宮林高夫(西東京)

同 大和忠廣(西東京)

同 三浦和人(西東京)

同 横内良道(皇宮・法務・自衛隊)

同 佐藤春雄(消防庁・交通局)

同 内田康介(学連剣・学生クラブ)

同 中島博昭(高体連)

同 伊藤繁男(居合道・杖道)

監事 外山卓夫

同 大岡澄夫

《評議員》

宇賀神 良博(千代田)・片野 幸司(中央)

倉澤 正(台東)・矢光 善美(文京)

植田 光寿(墨田)・足立 至弘(江東)

伊垣 誠(葛飾)・七原 稔(江戸川)

矢野 和久(足立)・柴田 章雄(新宿)

鎌田 正義(中野)・岡田 守正(杉並)

山田 博志(渋谷)・高橋 正明(世田谷)

相川 博(港)・金田 峻司(品川)

長澤 良治(目黒)・鎌田 幹雄(大田)

山口 正徳(豊島)・九万田 勉(北)

河上 一夫(荒川)・平松 忠男(板橋)

小沢 潤一郎(練馬)・青木 健(西東京)

遠藤 護人(西東京)・平尾 泰(警視庁)

藤原 康宏(皇宮)・新村 浩志(法務)

村上 和彦(自衛隊)・大卷 直人(消防庁)

徳竹 良男(交通局)・数馬 広二(学連剣)

辻村 弘毅(学クラ)・小野澤 由行(高体連)

柳原 弘文(居合道)・阿部 修(杖道)

木村 孝治(中体連)

《顧問》

古屋 勝彦・岡村 忠典

永松 陟・鴨志田 恵一

宮坂 信之・山本 泰人

内藤 常男

《相談役》

伊藤 元明

《審議員》

渡邊 哲也・梯 正治

中田 瑠士・椎屋 光男

近 光正・中山 峯雄

大久保 康一・下枝 堯

田中 一穂

各担当委員 (◎)委員長 (○)副委員長

総務委員 ◎安部壽和・西川清紀

吉岡成子・右田重昭

原嶋茂樹・寺地賢二郎

事業委員 ◎西川清紀・○右田重昭

○寺地賢二郎・風間順一

土田朝弘・三浦和人

佐藤春雄・中島博昭

内田康介

審判委員 ◎右田重昭・○西川清紀

○寺地賢二郎・村井憲司

宮林高夫・横内良道

審査委員 ◎原嶋茂樹・○吉岡成子

清水宣治・増田勲治

大和忠廣・伊藤繁男

財務委員 ◎吉岡成子・○原嶋茂樹

倫理委員 担当理事 久保木 優

◎太田文雄・佐藤穂貴

佐々木雅一・奥田りいな

医学委員 担当理事 太田健一郎

◎荻原幸彦・塚原清彰

前田秀将・越智小枝

女性委員 ◎吉岡成子・寺地里美

井上まゆみ・大崎香織

野崎由起子・関塚洋子

広報委員 ◎西山 貢・松本高明

小沢 清・木原敏明

目黒秀治

一般財団法人東京都剣道連盟居合道部会

令和三・四年度新役員

(順不同・敬称略)

会長 長伊藤 繁男

副会長 金田和久・畠中 篤美

平澤利明

専務理事 平澤利明

執行理事 糸田孝博・市川 学

平舘勝紘・古川 茂一

島 芳廣

理事 伊藤 知治(中野)

小山 高伸(府中)

小泉 尚(江戸川)

椿 二三夫(新宿)

沖野 規匡(品川)

清水 進(練馬)

塚本 溢己(八王子)

鬼久保信夫(警視庁)

監事 吉澤 菊夫・長澤 良治

相談役 柳原 弘文

評議員

三上 季彦(千代田)・鈴木 薫(中央)

山縣 繁晴(台東)・吉田 真澄(文京)

柴田 誠(墨田)・大澤 良和(江東)

鳥 博範(葛飾)・彦田きよ子(江戸川)

本多 正義(足立)・津村 恵治(杉並)

酒井 幹夫(中野)・小野 桃子(新宿)

中村 親夫(渋谷)・小倉 正樹(世田谷)

江藤 則孝(港)・北川 稔(品川)

高平とよ子(目黒)・原 正(大田)

指田 元紀(豊島)・柳 徹(北)

松迫 拓朗(板橋)・山田 正美(練馬)

片山 昇(武蔵野)・腰原 淳策(小平)

池田 敏克(清瀬)・渡邊 聡(府中)

田苗 俊和(小金井)・池田 哲郎(八王子)

佐久間 健(青梅)・細谷 辰雄(町田)

太田 修司(多摩)・戸辺 彰(昭島)

村上 憲司(立川)・松本 吉保(日野)

小久保重暢(八王子)・小塚 篤一(東村山)

羽田 順一(警視庁)・今野 好夫(都庁)

今西 辰夫(消防庁)・三浦 康典(防衛省)

東京都剣道連盟杖道部会

令和三・四年度新役員

(順不同・敬称略)

会長 長釣 賀敏郎

副会長 小林 正明・藤崎 興朗

清水 勇二

理事長 阿部 修

常任理事 椿 二三夫・森井 美津男

東浜 秋雄・力武 公平

江角 和敏・宗形 力夫

平木 茂・堀 克明

宇都 榮子

理事 菅沼 益・上野 道成

賀集 映二・笠原 忠幸

松川 岳央・村上 忠義

河村 豪祐・神屋 善四郎

竹内 正幸・花谷 清悦

平岡 靖之・川名 克実

河上 珠枝・佐藤 暢

中村 理恵子・西山 貢

黒石 康裕・入江 美雪

澤本 則男・田中 慎一郎

大場 俊賢・佐久間 利夫

田村 のり子・青木 卓弥

田中 康子・横尾 正和

田中 遼太郎・竹俣 松夫

積田 貞夫・草野 祐太郎

監事 奥田 康久

顧問 田原 弘徳・松村 重紘

椎屋 光男・古川 瞬也

荒井 洋・大里 耕平

相談役 堀井 侃

令和2年度収支計算書内訳表

(単位：円)

科 目	一般会計
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	22,149
特定資産運用収入	79,281
会費収入	13,708,500
事業収入	58,630,532
普及会費収入	344,250
講習会事業収入	299,800
大会会費収入	409,500
審査等参加料収入	28,633,595
登録料収入	28,943,387
補助金等収入	1,049,997
雑収入	2,327,480
事業活動収入計	75,817,939
2. 事業活動支出	
事業費支出	20,912,163
指導普及事業支出	1,149,111
講習会事業支出	793,169
育成強化事業支出	997,805
大会事業支出	8,063,620
大会派遣事業支出	346,240
審査会事業支出	9,282,218
功労者表彰事業支出	280,000
管理費支出	53,773,031
人件費支出	36,439,826
会議費支出	2,178,754
物件費支出	3,393,808
租税公課支出	6,554,800
支払保険料支出	300,080
分担金支出	3,140,000
雑費支出	1,765,763
事業活動支出計	74,685,194
事業活動収支差額	1,132,745
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	
特定資産	2,680,650
投資活動支出計	2,680,650
投資活動収支差額	△ 2,680,650
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
当期収支差額	△ 1,547,905
前期繰越収支差額	213,811,408
次期繰越収支差額	212,263,503

令和3年度収支予算書内訳表

(単位：円)

科目	一般会計
I 事業活動収支の部	
1. 事業活動収入	
基本財産運用収入	25,000
特定資産運用収入	15,800
会費収入	13,020,000
事業収入	89,762,558
普及費収入	2,690,000
講習会事業収入	2,280,000
大会費収入	4,445,700
審査等参加料収入	42,027,617
登録料収入	38,319,241
補助金等収入	7,935,000
雑収入	234,000
事業活動収入計	110,992,358
2. 事業活動支出	
事業費支出	72,572,000
指導普及事業支出	5,100,000
講習会事業支出	4,995,000
育成強化事業支出	8,194,000
大会事業支出	26,080,000
大会派遣事業支出	4,588,000
審査会事業支出	11,915,000
功労者表彰事業支出	1,700,000
70周年事業	10,000,000
管理費支出	55,722,000
人件費支出	27,887,000
会議費支出	6,405,000
物件費支出	8,040,000
租税公課支出	8,000,000
支払保険料支出	50,000
分担金支出	3,140,000
雑費支出	2,200,000
事業活動支出計	128,294,000
事業活動収支差額	△ 17,301,642
II 投資活動収支の部	
1. 投資活動収入	
投資活動収入計	0
2. 投資活動支出	
特定資産	2,026,450
投資活動支出計	2,026,450
投資活動収支差額	△ 2,026,450
III 財務活動収支の部	
1. 財務活動収入	
財務活動収入計	0
2. 財務活動支出	
財務活動支出計	0
財務活動収支差額	0
IV 予備費支出	0
当期収支差額	△ 19,328,092

令和2年度加盟団体の段位別・登録者集計報告

昨年度は各団体皆様のご理解とご協力により、団体別・段位別登録者数が明確になりました。感謝申し上げます。

この表を基に更に剣道人口の増加を目指し、一層の普及振興にご尽力頂きたいと思ひます。

令和3年3月31日現在(単位:人)

	初段	(前年比)	二段	(前年比)	三段	(前年比)	四段	(前年比)	五段	(前年比)	六段	(前年比)	七段	(前年比)	八段	(前年比)	2年度	(前年比)
千代田	30	▲40	76	0	103	▲23	121	▲31	98	▲8	94	▲2	127	3	5	0	654	▲101
中央	25	0	29	▲13	100	▲5	118	▲7	76	▲6	62	2	72	2	3	0	485	▲27
台東	43	0	44	4	56	14	35	6	32	3	38	▲1	26	▲1	3	0	277	25
文京	49	▲12	43	7	55	8	31	▲5	37	▲4	24	1	22	0	0	0	261	▲5
墨田	37	4	35	▲2	55	▲1	39	▲3	39	▲9	24	1	27	0	0	0	256	▲10
江東	48	1	34	▲14	42	▲4	40	▲3	41	▲2	29	6	39	2	2	0	275	▲14
葛飾	48	▲12	37	▲41	72	▲12	70	1	84	0	48	▲1	63	0	0	0	422	▲65
江戸川	81	▲20	63	▲15	77	5	74	▲1	80	▲1	51	▲4	49	1	3	0	478	▲35
足立	93	▲7	113	17	122	8	78	▲16	71	▲14	69	▲1	83	4	2	0	631	▲9
新宿	38	▲4	31	▲10	90	▲44	39	▲8	39	2	34	▲8	52	9	5	0	328	▲63
中野	77	29	70	▲3	56	0	47	▲6	75	▲5	51	▲3	63	▲6	5	▲1	444	5
杉並	89	▲18	81	▲23	73	▲6	61	▲5	52	▲4	51	4	68	▲1	2	0	477	▲53
渋谷	44	▲9	32	▲10	30	▲19	51	▲16	52	▲3	31	▲6	43	0	0	0	283	▲63
世田谷	61	▲95	58	▲101	85	▲63	99	▲7	77	▲5	50	▲3	83	1	8	0	521	▲273
港	65	▲19	55	▲17	51	▲4	45	▲19	44	▲5	31	▲2	46	1	1	0	338	▲65
品川	38	▲5	31	8	41	▲17	37	▲2	46	▲6	47	▲3	44	▲1	2	0	286	▲26
目黒	49	▲2	44	6	53	▲7	49	▲10	44	▲4	24	▲1	39	▲1	1	▲1	303	▲20
大田	72	▲5	61	▲1	74	▲24	92	▲10	95	▲3	72	1	98	▲1	2	0	566	▲43
豊島	75	▲52	75	▲18	42	▲13	30	▲4	14	1	39	▲2	47	▲1	1	0	323	▲89
北	56	0	65	1	50	▲7	48	1	47	▲11	48	▲5	57	5	0	0	371	▲16
荒川	24	▲1	27	▲3	24	▲1	38	▲5	35	▲1	20	▲4	35	▲1	2	0	205	▲16
板橋	74	▲5	55	▲29	94	▲31	96	▲8	94	▲3	61	▲8	100	3	6	0	580	▲81
練馬	76	▲74	108	▲87	145	▲46	104	▲12	88	▲8	67	6	80	2	1	0	669	▲219
西東京	733	▲120	788	▲148	717	▲61	556	▲63	574	▲25	463	▲12	574	13	18	1	4,424	▲415
警視庁	1,545	▲278	1,183	▲210	717	▲144	722	▲60	729	▲4	244	2	259	3	39	2	5,438	▲689
皇宮	78	▲19	113	0	158	▲14	37	▲2	18	▲3	16	▲2	16	▲1	6	0	442	▲41
法務	17	▲5	23	0	39	▲1	68	▲2	63	▲4	37	2	44	3	▲1	▲1	291	▲8
自衛隊	3	▲8	30	▲2	64	▲34	42	▲33	56	▲13	30	▲13	53	4	2	0	280	▲99
消防庁	37	▲26	38	▲6	115	▲6	61	▲4	45	2	34	▲2	43	▲1	0	0	373	▲43
交通局	17	▲1	28	▲1	53	▲2	31	0	25	1	31	▲2	31	0	0	0	216	▲5
学連剣	0	0	0	▲1	17	▲2	14	▲24	51	▲13	44	▲11	83	▲7	14	0	223	▲58
学生夕	50	▲103	208	20	1,663	▲89	418	24	0	0	0	0	0	0	0	0	2,339	▲148
高体連	315	▲293	1,151	▲590	318	▲489	10	0	20	1	21	▲2	30	▲11	4	0	1,869	▲1,384
居合道	184	▲35	265	▲46	307	8	247	▲10	271	0	124	5	132	0	12	▲2	1,542	▲80
杖道	61	▲45	119	▲29	124	▲16	96	▲3	116	4	53	▲1	37	▲1	13	▲1	619	▲92
計	4,332	▲1,279	5,213	▲1,357	5,882	▲1,142	3,744	▲347	3,328	▲150	2,162	▲69	2,665	22	162	▲3	27,489	▲4,325

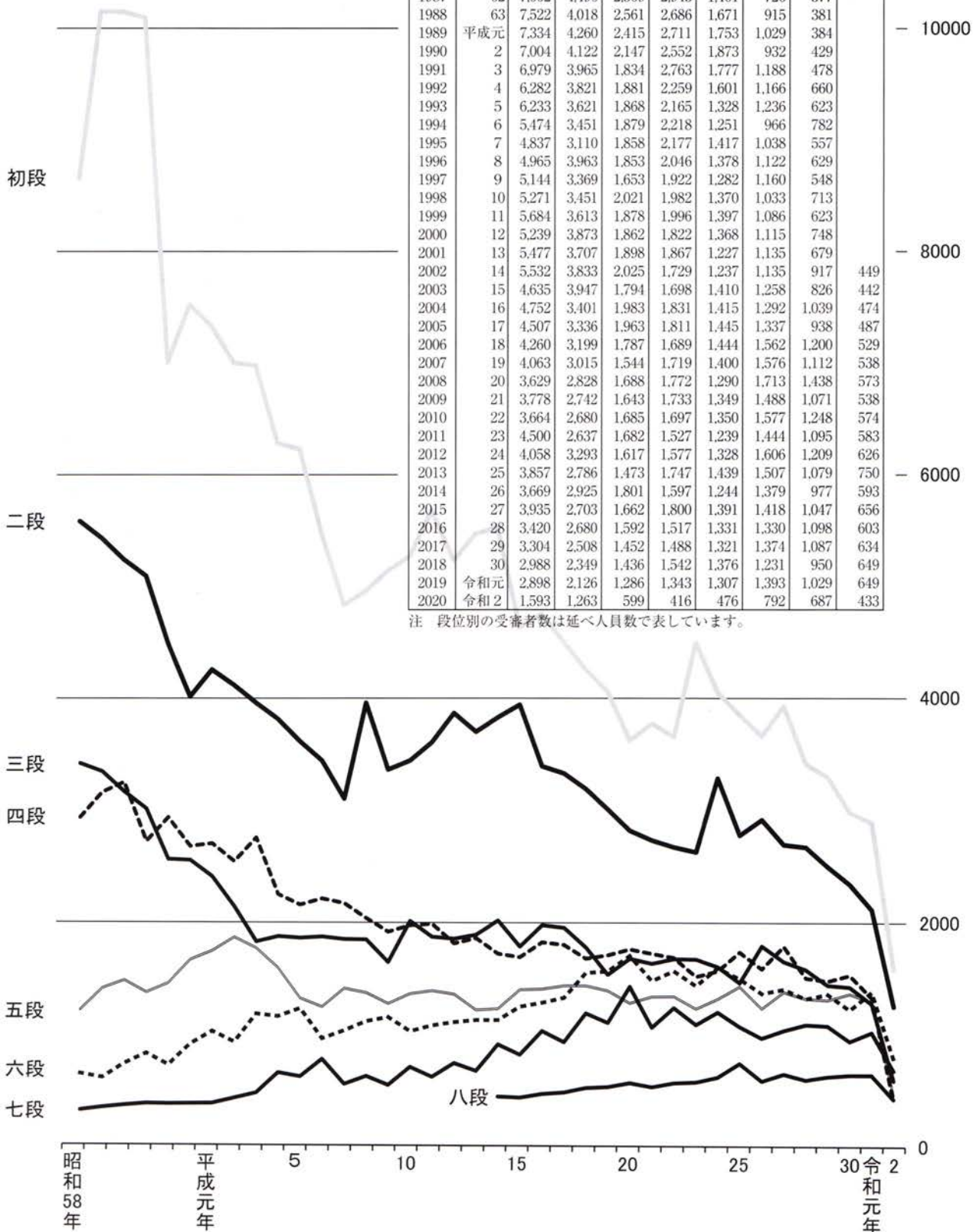
※各段位の右側の数字は前年度との会員数増減を記載しており▲は減を表しています。

東京都における剣道段位別受審者(申込者)数の推移

剣道段位別受審者数の推移 (単位:人)

西暦	元号	初段	二段	三段	四段	五段	六段	七段	八段
1983	昭和58	8,655	5,587	3,426	2,943	1,222	646	319	
1984	59	10,145	5,434	3,354	3,169	1,415	610	344	
1985	60	10,141	5,245	3,173	3,258	1,487	737	364	
1986	61	10,092	5,097	3,020	2,731	1,379	832	379	
1987	62	7,002	4,496	2,569	2,943	1,461	726	377	
1988	63	7,522	4,018	2,561	2,686	1,671	915	381	
1989	平成元	7,334	4,260	2,415	2,711	1,753	1,029	384	
1990	2	7,004	4,122	2,147	2,552	1,873	932	429	
1991	3	6,979	3,965	1,834	2,763	1,777	1,188	478	
1992	4	6,282	3,821	1,881	2,259	1,601	1,166	660	
1993	5	6,233	3,621	1,868	2,165	1,328	1,236	623	
1994	6	5,474	3,451	1,879	2,218	1,251	966	782	
1995	7	4,837	3,110	1,858	2,177	1,417	1,038	557	
1996	8	4,965	3,963	1,853	2,046	1,378	1,122	629	
1997	9	5,144	3,369	1,653	1,922	1,282	1,160	548	
1998	10	5,271	3,451	2,021	1,982	1,370	1,033	713	
1999	11	5,684	3,613	1,878	1,996	1,397	1,086	623	
2000	12	5,239	3,873	1,862	1,822	1,368	1,115	748	
2001	13	5,477	3,707	1,898	1,867	1,227	1,135	679	
2002	14	5,532	3,833	2,025	1,729	1,237	1,135	917	449
2003	15	4,635	3,947	1,794	1,698	1,410	1,258	826	442
2004	16	4,752	3,401	1,983	1,831	1,415	1,292	1,039	474
2005	17	4,507	3,336	1,963	1,811	1,445	1,337	938	487
2006	18	4,260	3,199	1,787	1,689	1,444	1,562	1,200	529
2007	19	4,063	3,015	1,544	1,719	1,400	1,576	1,112	538
2008	20	3,629	2,828	1,688	1,772	1,290	1,713	1,438	573
2009	21	3,778	2,742	1,643	1,733	1,349	1,488	1,071	538
2010	22	3,664	2,680	1,685	1,697	1,350	1,577	1,248	574
2011	23	4,500	2,637	1,682	1,527	1,239	1,444	1,095	583
2012	24	4,058	3,293	1,617	1,577	1,328	1,606	1,209	626
2013	25	3,857	2,786	1,473	1,747	1,439	1,507	1,079	750
2014	26	3,669	2,925	1,801	1,597	1,244	1,379	977	593
2015	27	3,935	2,703	1,662	1,800	1,391	1,418	1,047	656
2016	28	3,420	2,680	1,592	1,517	1,331	1,330	1,098	603
2017	29	3,304	2,508	1,452	1,488	1,321	1,374	1,087	634
2018	30	2,988	2,349	1,436	1,542	1,376	1,231	950	649
2019	令和元	2,898	2,126	1,286	1,343	1,307	1,393	1,029	649
2020	令和2	1,593	1,263	599	416	476	792	687	433

注 段位別の受審者数は延べ人員数で表しています。



令和2年度事業報告

〔4月〕

4日(土) 東京都居合道大会
 4日(土) 女子剣道審判講習会
 5日(日) 東京剣道祭

18日(土) 国体選手選考会

18日(土) 女子剣道稽古会

18日(土) 剣道高段者稽古会

18日(土) 剣道合同稽古会

〔5月〕

17日(日) 都民体育大会

17日(日) 全日本都道府県対抗女子
 剣道優勝大会予選会

17日(日) 剣道合同稽古会

23日(土) 剣道講師要員研究会

26日(火) 国体二次選考会

30日(土) 東京都女子年齢別剣道大会

30日(土) 居合道審判実技講習会

〔6月〕

20日(土) 全日本都道府県対抗少年
 剣道優勝大会選手選考会

27日(土) 杖道指導者審判講習会

29日(月) 剣道合同稽古会

〔7月〕

6日(月) 剣道合同稽古会

11日(土) 全日本居合道大会予選会

25日(土) 剣道登録審査要員等研修会

〔8月〕

8日(土) 女子剣道講習会

15日(土) 剣道四～七段受審者講習会

15日(土) 剣道登録審査要員等研修会

15日(土) 剣道合同稽古会

16日(日) 東京都杖道大会・東京杖道祭

〔9月〕

5日(土) 寛仁親王杯剣道
 八段選抜大会

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

令和3年

〔1月〕

27日(日) 剣道合同稽古会

30日(土) 居合道八段受審者講習会

〔2月〕
 6日(土) 女子剣道稽古会

7日(日) 剣道合同稽古会

21日(日) 東京都少年剣道大会

23日(休) 杖道指導者審判講習会

27日(土) 東京都剣道大会

〔3月〕
 6日(土) 居合道四・五段審査会

8日(月) 剣道合同稽古会

13日(土) 杖道四・五段審査会

9名参加

中止

48名参加

中止

71名参加

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

中止

6日(日) 東京都青年剣道大会
 6日(日) 都民生涯スポーツ大会
 7日(月) 剣道合同稽古会
 12日(土) 居合道伝達講習会
 19日(土) 剣道八段受審者講習会

23日(火) 全日本都道府県対抗
 剣道優勝大会予選会
 27日(土) 剣道八段受審者講習会

106名参加
 39名参加

令和2年度剣道・居合道・杖道四・五段審査会の結果

	年月日	段位	受審者	実技合格者	形・学科不合格者	合格者	合格率	再受審者	再受審合格者
剣道	R2.10.17	四	160人	71人	9人	62人	38.8%	12人	12人
		五	209	56	4	52	24.9	5	5
	R2.11.14	四	223	85	11	74	33.2	5	5
居合道	R2.12.13	四	37	17	0	17	45.9	0	0
		五	35	17	0	17	48.6	0	0
	R3.3.6	四	26	8	1	8	30.8	0	0
		五	19	4	1	4	21.1	0	0
杖道	R2.11.21	四	12	9	0	9	75.0	0	0
		五	15	9	0	9	60.0	0	0
	R3.3.13	四	4	2	0	2	50.0	0	0
		五	5	3	0	3	60.0	0	0

大会記録

第三十九回東京都女子剣道選手権大会
令和2年12月20日

於 東京武道館

- 優勝 諸岡 温子 (学生クラブ)
- 第二位 本川 愛梨 (足立)
- 第三位 桜井陽奈子 (学生クラブ)
- 松下 夏生 (学生クラブ)



東京都女子選手権大会 閉会式

第五十九回東京都剣道選手権大会
令和2年12月20日

於 東京武道館

- 優勝 山本 有樹 (学連剣)
- 第二位 中嶋 優樹 (千代田)
- 第三位 村富 聖気 (西東京)
- 石田 雄二 (千代田)



東京都選手権大会



東京都選手権大会 役員・入賞者

第六十九回全日本都道府県対抗
剣道優勝大会東京都予選会
令和3年3月23日

於 東京武道館

- 大将の部
優勝 碓氷 好一 (世田谷)



都道府県予選会 役員・各部門優勝者

第五十七回東京都居合道大会
令和3年4月3日

於 東京武道館

チーム対抗優勝試合

優勝 板橋

- 二位 宮本 貴之 (千代田)
- 副将の部 優勝 上原 祐二 (学連剣)
- 二位 池西 無我 (法務)
- 中堅の部 優勝 貝塚 泰紀
- 二位 齋藤 勝将
- 五将の部 優勝 岩川 力 (港)
- 二位 伊藤 謙剛 (千代田)
- 次鋒の部 優勝 黒木裕二郎 (中央大)
- 二位 児島 博文 (駒澤大)
- 先鋒の部 中基 潤希 (高体連推薦)
- 優勝 糸田 茉子
- 三・四段の部 福永 靖史
- 五・六段の部 中村 彦佑
- 準優勝 新宿 1
- 二段以下の部 西谷 颯太
- 三・四段の部 星野すみれ
- 五・六段の部 福見 健治
- 第三位 新宿 2
- 二段以下の部 口川 真
- 三・四段の部 木村 伊志
- 五・六段の部 海寶 丈彰



東京都居合道大会 五・六段決勝



東京都居合道大会 団体優勝板橋チーム

第六十一回東京剣道祭

令和3年4月4日

於 東京武道館

ソメイヨシノの満開はすでに終わり、綾瀬駅から東京武道館へ向かう道の左側の八重桜の花が7分咲きになった4月4日、東京都剣道連盟創立70周年を記念した第61回東京剣道祭が開催されました。昨年の第60回大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。例年1100名を超える剣士が参集し、日ごろの修練の成果を披露するのですが、今年には関東近県からの参加は断念し、423名の参加となりました。千葉胤道会長の挨拶、加藤浩二審判長の説辞の後、打太刀右田重昭、

仕太刀栗田和市郎両範士八段による日本剣道形の演武が披露されました。引き続き、五段の部(女子)、六段・錬士六段の部の演武がおこなわれ、次いで長年東京都剣道連盟のためにご尽力くださった方たちへの表彰式のと、錬士・教士七段の部、さらに高齢者の部の演武が行われました。

午後からの特別演武では、まず古流から。直心影流之形『法定』

石井 猛

井上 豊

五行之形

谷口 茂樹

永嶋 加代子



東京剣道祭 直心影流之形『法定』特別演武

小野派一刀流

十八代宗家 矢吹 裕二

免許皆伝 石崎 徹

認証状 庄嶋 卓司

認証状 中山 竜一

普段、なかなか拝見することのできない古流各流派の技の神髄をご披露くださり、大変勉強になりました。

また、剣道連盟に所属し、剣道と合わせて三道といわれている居合道と杖道の演武も行われました。

居合道

立 会 範士八段 柳原弘文

演武者 教士八段 無双直伝英信流 島中 篤美

教士八段 無外流 伊藤 繁男

教士八段 夢想神伝流 市川 学

杖道

打太刀 教士八段 阿部 修

仕 杖 教士八段 力武 公平

剣道と同時に、居合道や杖道の稽古に励んでいらつしやるかたも少なくありませんが、もっと多くの方に広がってほしいものです。

その後の、教士八段・範士による模範試合は、熟達を極めた、無駄と力みのない、流れるような技



東京剣道祭 日本剣道形演武

が次々と披露され、場内はため息とどよめきに包まれていました。コロナウイルスという未曾有の疫病がまん延する中、様々な障害が立ちふさがったにもかかわらず開催にこぎつけた剣道祭でしたが、無事に終了することができました。また、その後、この大会による感染拡大といったことも起こらなかったことは、まさにご同慶の至りです。ワクチン接種がさらに進み、次回は何の心配もなく剣道祭を開くことができることを祈念しております。

(編集子)

優秀試合者

第一試合場

浅井 文貴 (台東)

洞口 雄介 (高体連)

宮坂 信之 (文京)



国体予選会

成年女子の部
大将 鈴木 亜紀(中野)
中堅 菅原 小織(千代田)

第七十六回国民体育大会剣道競技
選手選考会
令和3年4月17日
於 東京武道館

第二試合場
水野 正太郎(新宿)
斉藤 悦子(中野)
中原 泉(自衛隊)
第三試合場
中谷 明子(西東京)
小笠 俊樹(西東京)
富田 正道(西東京)
第四試合場
安藤 功(北)
青木 健一(練馬)
岩瀬 勝彦(西東京)



都道府県女子予選会 中堅の部入賞者

中堅の部
優勝 二宮 恭子(西東京)
於 東京武道館

第十三回全日本都道府県対抗女子
剣道優勝大会東京都予選会
令和3年6月2日

先鋒 桜井 陽奈子(学生クラブ)
第七十六回国民体育大会剣道競技
選手選考会
令和3年5月25日
於 東京武道館
成年男子の部
大将 植原 吉朗(学連剣)
副将 天野 康寿(高体連)
中堅 神崎 力(西東京)
次鋒 村富 聖気(西東京)
先鋒 井上 達登(学クラブ)



都道府県女子予選会 各部門優勝者

第二位 富永比奈野(港)
第十三回全日本都道府県対抗女子
剣道優勝大会東京都予選会
令和3年6月9日
於 東京武道館
大将の部
優勝 鈴木 亜紀(中野)
第二位 山本佐代子(西東京)
副将の部
優勝 小泉 葉子(足立)
第二位 大里 史織(法務)
次鋒の部
優勝 諸岡 温子(中央大)
第二位 倉ノ下萌香(東洋大)

第二位 富永比奈野(港)
第十三回全日本都道府県対抗女子
剣道優勝大会東京都予選会
令和3年6月9日
於 東京武道館

先鋒の部

北井 沙樹(高体連推薦)

第三十三回東京都杖道大会・
第二十二回東京杖道祭
令和3年6月19日
於 東京武道館

杖道部会常任理事 藤崎 興朗

収束の域が見えないコロナ禍のため、昨年度の杖道大会は止む無く中止となった。本年は、6月19日に東京武道館において、東京都剣道連盟創立70周年を記念して、第33回東京都杖道大会・第22回東京杖道祭が開催された。東京武道館、東京新聞・東京中日スポーツの後援をいただき、また当杖道部会としては釣賀敏郎新会長を迎えての初めての大会の実施となった。

当日は大会主催者の東京都剣道連盟千葉胤道会長の出席をいただきと同時に、ご懇篤なる祝辞に参加者一同感激しての一日となった。

そして大会は当然その感染防止対策であるガイドラインを徹底しながらの開催で、厳しい環境とはいえ早朝から雨天の中、久々の大会参加に意気揚々とした選手の様が見られ、杖道に思いを馳せる杖友に感謝と感激の極みであった。

平時と異なり、無観客の大会であり、参加者も余儀なく減少となったことから、試合場も四試合場から二試合場での進行となった。また恒例の大学生による団体戦もやむなく中止となる中、少々盛り上がり心配ではあった。しかし、神奈川県・千葉県・埼玉県からの参加者、そして、事前研修会での審判員・係員の真剣で充実した研修内容の成果で、実に武道大会らしく、気配り・礼節・各々の状況判断が行き届いた凛とした大会となった。

試合は既定の規則の他、感染防止対策として暫定的な試合者審判員要領を申し合せとして行い、進行は二人一組の個人トーナメント戦でその結果は別項のようになった。今回は特に神奈川県勢の活躍が目立った。

優勝・入賞した選手の皆さんは日頃の稽古の成果が表現でき、段位に応じた「姿勢しく、適正な杖と太刀の理合い、迫真の技を求めた気力」が認められた結果に心からお祝いを申し上げたい。

午後からの杖道祭は、各々が日頃の修行の成果を発表する機会である。制定形の起源である古流の技も多彩で真剣そのもの、披露する演武者の姿は杖道の奥の深さを感じさせてくれた。頼もしい限り

である。

全日本剣道連盟そして東京都剣道連盟からの感染防止対策の指導を杖道部会として徹底し、厳しい環境でも部会が一致団結して今回の大会が無事に終了できた事に感謝したい。今回の参加者はもとより、杖道部会一同は、「一陽来復」と杖道の「無限の可能性」に期待し、杖道の普及発展に思いを馳せたことと思う。

初段の部

- 一位 西村 尚子(夢想館)
- 二位 西村 正仁(夢想館)
- 三位 會沢 安弘(千葉県剣連)
- 四位 會沢 美香(千葉県剣連)

二段の部

- 一位 橋本 亮子(目黒区剣道連盟)
- 二位 稲田 和幸(桃林杖道会)
- 三位 落合 剛(桃林杖道会)

三段の部

- 一位 石田 勝彦(武道学園純正館)
- 二位 鐘 昌榮(武道学園純正館)
- 三位 古賀麻奈美(桃林杖道会)
- 四位 武藤亜紀子(桃林杖道会)

四段の部

- 一位 下田 正信(目黒区剣道連盟)
- 二位 滝瀬 徳(多摩杖道会)
- 三位 大澤 奈美(武光塾杖道会)
- 四位 石田 達郎(武光塾杖道会)

五段の部

- 一位 清水 裕子(神奈川県剣連)
- 二位 南 敦也(神奈川県剣連)
- 三位 山川 恵司(藏脩館杖道会)
- 四位 田村のり子(目黒区剣道連盟)

六段の部

- 一位 佐野 弘和(神奈川県剣連)
- 二位 西垣 泰宏(神奈川県剣連)
- 三位 石田ゆき子(神奈川県剣連)
- 四位 ナラ・オレリアン(神奈川県剣連)

七段の部

- 一位 石堂虎太郎(神奈川県剣連)
- 二位 中川 靖浩(神奈川県剣連)
- 三位 岩本 光弘(神奈川県剣連)
- 四位 斎藤 嘉教(神奈川県剣連)



東京都杖道大会

大会報告

第五十九回全日本女子剣道選手権大会
令和3年3月14日

於 長野県



全日本女子選手権大会
優勝 諸岡選手

写真提供 全日本剣道連盟

成績

- 一回戦 メー 飯島(長野)
- 二回戦 メー 乗田(三重)
- 三回戦 メー 村田(鹿児島)
- 四回戦 メー 小川(新潟)
- 準決勝 メー 竹中(栃木)
- 決勝 メー 山崎(宮崎)

第六十八回全日本剣道選手権大会

令和3年3月14日

於 長野県

優秀選手 山本 有樹(学連剣)



国民体育大会関東ブロック大会
役員・監督・少年女子選手

第七十六回国民体育大会

関東ブロック大会

令和3年6月20日

於 栃木県

成年女子

監督 寺地 賢二郎
先鋒 桜井 陽奈子(学生クラブ)
中堅 菅原 小織(千代田)
大将 鈴木 亜紀(中野)

少年男子

監督 天野 康寿

少年女子

先鋒 加庭 優太(正則学園)
次鋒 樋口 隆太郎(明大中野)
中堅 大森 雅貴(正則学園)
副将 片桐 俊(海徳巣鴨)
大将 新妻 勇吾(東海大菅生)
補員 伊東 允(郁文館)

監督 坂田 正晴
先鋒 木村 結(淑徳巣鴨)
次鋒 時任 心(日体大桜華)
中堅 白倉 鈴乃(淑徳巣鴨)
副将 北井 沙樹(淑徳巣鴨)
大将 梅澤 萌里(淑徳巣鴨)
補員 下村 晏加(淑徳巣鴨)

少年女子が2位で三重国体の出場権を獲得しました。

第十三回全日本都道府県対抗女子

剣道優勝大会

令和3年7月10日

於 奈良県

監督 上浦 かなえ
先鋒 北井 沙樹(高体連)
次鋒 諸岡 温子(学生クラブ)
中堅 二宮 恭子(西東京)
副将 小泉 葉子(足立)
大将 鈴木 亜紀(中野)

一回戦 東京都 4-0 秋田県
二回戦 東京都 1-1 長崎県

高体連大会

令和三年度東京都高等学校春季

剣道大会兼関東大会団体東京都予選

令和3年5月7日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

足立学園 1-2 巢鴨
都立青梅総合 1-2 東海大菅生
杉並学院 3-0 都立八王子東
明大付属中野 1-2 正則学園
郁文館 2-1 桜美林
城西大付属城西 2-1 都立上水
東海大付属高輪台 2-1 日大豊山
拓殖大第一 2-1 都立光丘

準々決勝

巢鴨 2-3 東海大菅生
杉並学院 1-2 正則学園
郁文館 5-0 城西大付属城西
東海大付属高輪台 3-1 拓殖大第一

準決勝

東海大菅生 2-0 正則学園
郁文館 1-3 東海大付属高輪台

決勝

東海大菅生 1-0 東海大付属高輪台

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨 5-0 都立昭和
都立光丘 0-1 都立青梅総合
都立深川 4-0 十文字
東海大付属高輪台 3-0 日体大桜華

東海大菅生 3-0 都立篠崎
桜美林 0-5 都立富士
修徳 5-0 潤徳女子
都立松が谷 2-1 都立清瀬

準々決勝

淑徳巣鴨 5-0 都立青梅総合
都立深川 0-1 東海大付属高輪台
東海大菅生 1-2 都立富士
修徳 4-0 都立松が谷

準決勝

淑徳巣鴨 3-0 東海大付属高輪台
都立富士 0-4 修徳

決勝

淑徳巣鴨 2-1 修徳

令和三年度東京都高等学校春季

剣道大会兼関東大会個人東京都予選

令和3年5月9日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

片桐(東海大付属高輪台) 堀原(拓殖大第一)
佐藤(芝) モーリソン 宮本(都立葛西南)
木村(東海大付属高輪台) 新妻(東海大菅生)
大野(巢鴨) 下東(杉並学院)
大矢(桜美林) 下米山(都立鷺宮)
大森(正則学園) ヨー 久保(足立学園)
川鍋(早稲田実業) ヌー 上月(国士館)
樋口(明大付属中野) コー 大西(都立富士)

準々決勝
片桐(東海大付属高輪台) 佐藤(芝)
新妻(東海大菅生) 大野(巢鴨)
米山(都立鷺宮) 大森(正則学園)

川鍋(東海大菅生)メー 三樋口(明大付属中野)

準決勝

片桐(東海大菅生)コー 新妻(東海大菅生)

大森(正則学園)メー 樋口(明大付属中野)

決勝

片桐(東海大菅生)メー 大森(正則学園)

女子の部

ベスト16

北井(淑徳巣鴨)メー 岩邊(都立昭和)

雨田(日体大桜華)メー 太田(東海大菅生)

平原(十文字)メー 齋藤(修徳)

崔(淑徳巣鴨)トー 秋庭(都立深川)

梅澤(淑徳巣鴨)メー 宮村(都立深川)

三枝(都立光丘)メー 鍋島(東海大菅生)

山内(東海大菅生)メー 高橋(都立昭和)

木村(淑徳巣鴨)メー 時任(日体大桜華)

準々決勝

北井(淑徳巣鴨)メー 雨田(日体大桜華)

齋藤(修徳)メー 崔(淑徳巣鴨)

梅澤(淑徳巣鴨)メー 鍋島(東海大菅生)

山内(東海大菅生)メー 時任(日体大桜華)

準決勝

北井(淑徳巣鴨)メー 齋藤(修徳)

梅澤(淑徳巣鴨)コー 山内(東海大菅生)

決勝

北井(淑徳巣鴨)メー 梅澤(淑徳巣鴨)

令和三年度全国高等学校剣道大会

東京都予選会個人戦

令和3年5月28日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

片桐(東海大菅生)メー 大野(巣鴨)

荒井(足立学園)メー 川下(明大付属中野)

西川(東洋大京北)メー 上月(国士館)

久保(足立学園)メー 樋口(明大付属中野)

新妻(東海大菅生)メー 仲田(巣鴨)

田(上野学園)メー 加庭(正則学園)

小野(国士館)メー 安倍(都立上水)

伊豆本(東海大菅生)メー 橋本(駒澤大学)

大野(巣鴨)メー 川下(明大付属中野)

上月(国士館)メー 樋口(明大付属中野)

新妻(東海大菅生)メー 加庭(正則学園)

安倍(都立上水)メー 伊豆本(東海大菅生)

準決勝

川下(明大付属中野)メー 樋口(明大付属中野)

新妻(東海大菅生)メー 伊豆本(東海大菅生)

決勝

樋口(明大付属中野)メー 伊豆本(東海大菅生)

北井(淑徳巣鴨)メー 小林(都立光丘)

増子(日体大桜華)メー 中村(修徳)

崔(淑徳巣鴨)メー 時任(日体大桜華)

太田(都立王子東)メー 山下(東海大菅生)

内田(東海大菅生)メー 木村(淑徳巣鴨)

雨田(日体大桜華)メー 後藤(都立晴海総合)

岡田(日体大桜華)メー 多田(立教女学院)

小田切(都立富士)メー 梅澤(淑徳巣鴨)

準々決勝

北井(淑徳巣鴨)メー 中村(修徳)

崔(淑徳巣鴨)メー 太田(都立王子東)

内田(東海大菅生)メー 雨田(日体大桜華)

多田(立教女学院)メー 梅澤(淑徳巣鴨)

準決勝

北井(淑徳巣鴨)メー 崔(淑徳巣鴨)

内田(東海大菅生)メー 梅澤(淑徳巣鴨)

決勝

北井(淑徳巣鴨)メー 内田(東海大菅生)

令和三年度全国高等学校剣道大会
東京都予選会個人戦
令和3年6月11日
於 東京武道館

男子の部

ベスト16

東海大菅生 3-0 都立上水

都立青梅総合 1-1 都立松が谷

巣鴨 4-1 桜美林

足立学園 1-1 郁文館

正則学園 4-0 國學院久我山

明大付属中野 4-0 駒澤大学

杉並学院 1-2 都立富士

都立王子東 0-3 東海大付属高輪台

準々決勝

東海大菅生 2-1 都立青梅総合

巣鴨 2-2 郁文館

正則学園 0-0 明大付属中野

都立富士 2-3 東海大付属高輪台

準決勝

東海大菅生 2-1 巣鴨

決勝

正則学園 2-1 東海大付属高輪台

東海大菅生 0-3 正則学園

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨 3-0 都立篠崎

都立昭和 1-4 東海大菅生

都立青梅総合 0-3 広尾学園

文化学園大杉並 2-2 都立富士

東海大付属高輪台 3-1 都立国立

日体大桜華 2-1 駒澤大学

都立深川 3-1 都立鷺宮

都立上水 0-4 修徳

淑徳巣鴨 2-1 東海大菅生

広尾学園 0-5 都立富士

東海大付属高輪台 0-1 日体大桜華

都立深川 0-2 修徳

準決勝

淑徳巣鴨 3-0 都立富士

日体大桜華 2-1 修徳

淑徳巣鴨 3-1 日体大桜華

第六十八回関東高等学校剣道大会
令和3年6月4~6日
於 埼玉県

女子団体の部

優勝 淑徳巣鴨高等学校

第三位 修徳高等学校

女子個人の部

第三位 北井 沙樹 (淑徳巣鴨高等学校)

全日本女子剣道選手権大会優勝で 都知事を表敬訪問

中央大学3年 諸岡 温子



左から北原監督、諸岡さん、小池都知事、千葉会長、潮部長

3月14日に行われた第59回全日本女子剣道選手権大会で、東京都代表として出場した中央大学3年の諸岡温子さんが優勝しました。このため、「このような名誉あることはぜひとも東京都知事に報告すべきである」との声が上がり、3月30日(火)の夕方に小池百合子都知事を表敬訪問することになりました。東京都剣道連盟の千葉胤道会長をはじめ、中央大学剣道部の潮清孝部長、北原修監督も同道し、午後4時15分に都知事の会見室を訪れました。

◇ 初めに小池都知事に、時間を取っていただいたことのお礼を述べ、次のようにお話ししました。

「全日本女子剣道選手権大会で東京都代表として出場し、優勝することができました。この大会に出場することが幼いころからの夢であり、私にとって憧れの舞台でした。大会には、初出場だった為、チャレンジヤーの気持ちで臨みました。

コロナ禍の中、この大会に向けて練習時間も短縮しましたが、自身で勝つために必要な事を常に考えながら自主練習やランニングに創意工夫を加え、取り組んできました。今回の試合

を通して、日々仲間と共に練習ができていたこと、剣道ができる環境というものには当たり前ではないと改めて感じました。

今大会を運営して下さった剣道連盟の皆様、また、学生の為剣道ができる環境を提供して頂いた監督始めスタッフの皆様にご感謝の気持ちでいっぱいです。ここで日本一になったことは、これまでお世話になった先生方や仲間、家族に支えられて成し遂げられた結果だと感じております。

今後は、この感謝の気持ちや、挑戦者のきもちを忘れずに、今回試合で学んだことを今後活かして来たる学生大会に向けて精進してまいりたいと思います」

都知事からは以下のようなお言葉をいただきました。

「コロナ禍で練習もできない中で良く頑張ってくださいました。またマスクの上から面をつけるなど苦労もされたと思います。日本の武道の柱である剣道で、これからも心強く、技を磨き、体を鍛えて、次の目標に挑んで今後も剣道界を盛り上げて行ってください」

そして、都知事とともに写真撮影をして表敬訪問を終えました。

称号・六段以上合格者

剣道範士

〔5月3日於京都府〕

松下吉進 70歳(板橋)



職 業 団体役員
出身地 熊本県
座右の銘「請勿怠」

佐藤勝信 63歳(警視庁)



職 業 会社員
出身地 宮城県
座右の銘「誰にもでき
る簡単な事
を誰にもで
きないくら
いやり続け
る事」

を誰にもでき
る簡単な事
を誰にもで
きないくら
いやり続け
る事

〔剣道八段〕(5月1日於京都府)

中田 淳 47歳



職 業 警察官
出身地 千葉県
座右の銘「一生懸命」
「覚悟」

〔杖道六段〕(1月15日於東京都)

海原 要

〔剣道七段〕(2月20日於長野県)

〔千代田〕北原正樹・石原照門・
永田 武・内藤 勝〔葛飾〕国分
辰男・伊賀茂則〔足立〕田中博元・
緑川美恵子〔新宿〕三森定行・深

井正樹・新井 傑〔中野〕宇野
孝〔世田谷〕小松 茂〔港〕藪田
貴志〔品川〕北村直彦〔大田〕日景
俊〔北〕梶田郁男〔荒川〕坂田岳
史〔板橋〕松本忠治・田中裕公〔西
東京〕矢野昌子・坪地宏彰・黒瀬
博之・川瀬達郎・野崎 茂・倉島
秀夫・村上敏行〔法務〕古市鉄義〔自
衛隊〕飯尾武弘

〔剣道六段〕(2月21日於長野県)

〔千代田〕菅原小織・網谷麻里子〔中
央〕小掠 剛〔墨田〕日高 亨・
小林勝己〔江東〕田代浩平・三村
淳〔足立〕本川愛梨・早苗幹子・
刑部 治〔新宿〕田原恭子〔中野〕
関根雅晴・重松 健〔杉並〕木下
潤一・黒瀬賢吾・北 週作・寺本
剛〔世田谷〕本村亮輔・藤井雅章・
西脇丈太郎・高岸寿子〔港〕岩川
力〔品川〕石川久恵〔大田〕近藤
卓・飯島靖彦〔豊島〕佐藤 昭〔北〕
中川光二〔板橋〕大崎龍馬〔練馬〕
近澤一穂〔西東京〕上床 肇・山
本雄一・大槻真勇〔警視庁〕小西
輝・吉武智史・猪野将守・川崎健
児〔法務〕嶋村 聡〔自衛隊〕高
橋晃博・加藤潤一〔学連剣〕滝沢
和則

〔剣道六段〕(4月29日於京都府)

〔新宿〕飯塚裕一〔中野〕北川
薫〔杉並〕濱田洋子〔渋谷〕小林
千晶〔港〕佐川 桂〔北〕浅野大

〔剣道七段〕(4月30日於京都府)

〔墨田〕兼古雅空・稲田和幸〔新宿〕
千々布敏弥〔渋谷〕東野祥策〔大田〕
荒牧聖一〔板橋〕大野隆信〔西東京〕
関根啓貴〔警視庁〕畠中宏輔

〔剣道錬士〕(5月3日於京都府)

〔千代田〕松田賢一郎・米田徳仁・
萩原和幸・安永和生〔中央〕近藤
俊平・豆田忠補〔葛飾〕伊垣 諒・
花田大作〔江戸川〕田島宏毅・武
川洋一〔新宿〕板井克己〔杉並〕
井上裕教〔港〕畠山信美・桑水流
美代子〔目黒〕大石公隆〔北〕鈴
木康平・高須直岐〔板橋〕多田光
一〔練馬〕上野耕一〔西東京〕納
谷俊大・森川朋亮・椎野貴史・柏
木誠士・但馬淳仁・竹下正樹・二
ツ森尚美・玄田 恵・間宮あゆみ・
三浦 茂・森 正志・小宮健治・
清水竹夫〔警視庁〕石井良三・近
藤浩貴・鯛津大介・蒲原秀一・杉
本久美子・鮫島幸一郎〔法務〕小
南雅和〔自衛隊〕米村尚之・皆川
貴廣・柴田俊司〔消防庁〕折笠雄基・
野澤勇太・森下 立

將〔荒川〕渡辺正行〔西東京〕藤
野眞樹・小池 満〔警視庁〕西村
和倫〔高体連〕齋藤勝将

高澤 彰・福島正行〔文京〕細川
良一〔江東〕吉澤裕明〔葛飾〕笹
野泰弘〔江戸川〕吉田 勇〔足立〕
谷口 光〔新宿〕鹿間泰二郎〔中野〕
宮澤明彦・児玉英彦〔杉並〕水野
上晃〔渋谷〕木村琢也・安田幸平〔世
田谷〕松田光弘・野崎由起子・藤
原敏雄・藏本克哉〔港〕奥田直人
〔品川〕牧志幸男・藤田秀樹〔目黒〕
加藤記究〔大田〕伊藤 伸・丸山
浩〔豊島〕前田健二〔荒川〕岡嶋
晃久〔板橋〕小宮慶之・松本 忠〔練
馬〕中嶋佳代子〔西東京〕松本由
起子・松浦健一・小林一成・井口
一郎・田中 聡・坂本守男・西村
徹・白田 哲・磯貝高嗣・飯沼英男・
沼尻素光・武田憲明〔警視庁〕井
上 剛・佐久間亮・中村 茂・関
雅之・松尾正之〔法務〕遠山健二・
片山大輔・岡本龍二〔自衛隊〕大
崎香織〔消防庁〕高野正好〔学連
剣〕萩原 裕・金子幸寛〔高体連〕
青柳利陽

〔杖道錬士〕(5月3日於京都府)

〔杖道錬士〕(5月3日於京都府)

〔杖道錬士〕(5月3日於愛知県)

〔千代田〕今川信吾・江崎 崇〔台
東〕佐藤 護・望月 彰〔墨田〕
東木宏達〔新宿〕久富きよら〔杉

〔杖道錬士〕(5月3日於京都府)

〔杖道錬士〕(5月3日於京都府)

並堀 進悟【渋谷】潮 清孝【世田谷】高坂知佐子【港】佐藤一男【大田】坪井陽一【北】君嶋 明【西東京】志村進吾・柴田直規・新間芳子・伊藤尚真・吉村正造・土屋誠【警視庁】今濱康範・新坂亮太【法務】安達悦治・渡邊繁太【消防庁】中山 将【学連剣】林 重雄

剣道六段 (5月16日於愛知県)

【台東】水野慎一郎【葛飾】小高麻利子・内藤 香【江戸川】板垣美岐子【足立】伊達賢一・早船啓介【新宿】安本しげよ【杉並】佐藤大輔・塚原樹介【渋谷】秋田利通【港】薩摩信吾【目黒】井関由美子【大田】野原行雄・會澤伸憲【板橋】中村英明・青木輝彦【練馬】井上恵一【西東京】齋藤大樹・佐々木美穂・天野 理・立花正恒・小室弘樹・白須 真・村上芳見【警視庁】岩永二郎・山口総大・巻之内宣智・池田晃一【皇宮】山中 駿・菊地裕志【自衛隊】徳岡義文【学連剣】池上浩司

居合道七段 (7月2日於新潟県)

岡本宣士・深井 宏・日下りつ子・山田 耕・岸 隆康

居合道六段 (7月2日於新潟県)

堀江勝大・斯波佑亮・佐藤昌幸・塚本智恵子・早坂明哲・平 史樹

モラレスエンリケ・瀬上ゆかり

剣道四・五段審査会

(4月24日兼2月7日代替)

於東京武道館

五段合格者

【千代田】松下征志郎・高橋堅輔【中央】外山陽次郎・前田英樹【台東】池上昭光【文京】内木幸介【墨田】井浦滋忠【江東】石木田正義【江戸川】藤井幸子【足立】松本孝春・米本慎一郎【新宿】山下 凱・三井秀人・野口睦男【中野】野口翔・横井明子【杉並】川村太郎・菊池敬子・川原香織・桜井弘明【渋谷】宮澤直哉・木幡隆之・柳内孝彦・片山喜八郎【世田谷】加藤光伸・小野寺俊寛・合瀬宏毅・谷山恵一【港】新田里帆【品川】玉谷昂介・田中 毅・浅田正之【目黒】堀内康史・高木誠司【大田】加藤直樹・村上浩史・二戸純司【豊島】清水香【荒川】深沢邦之・菊池 宏【板橋】安藤智恵【練馬】阿部 崇【西東京】南圭太郎・町田昌文・福田 宇哲・榎本みな・早坂紘旗・村上 隼矢・本橋和也・井上祐子・神田 豊明・岡村雄彦・齋藤成美・鋤柄 富昭・山口隆市・加藤一夫【警視庁】小林大暉・初田 彪・矢野貴之・津坂宗弘・高口了汰【皇宮】津田 祐輝【法務】八木大地・戸村卓見

四段合格者

【千代田】宮崎英輝【中央】市川 貴幸【文京】山本恭平・山田幸寛・小泉俊道・高橋 博【墨田】小笠原開斗【葛飾】藤城芳生・十二丁 伸吾【江戸川】川合大祐【足立】吉光礼人【中野】山西七菜子・浅香 樹【杉並】田代祥平・杉山 元【世田谷】大田祐二朗・堀江真希・奥 高佳【港】元吉雄弥【品川】中村隆文【目黒】西村 滋・杉山浩二【大田】巢原遥貴・落合 海斗・木村和恵・川島 誠・菊地 耕太郎・飯田加珠子【北】田中晋太郎・若月京子【荒川】関口駿介【板橋】木村俊介・大野天音・小林孝次・松谷美世【西東京】塩飽 正典・山本拓輝・岩邊誠一・平川 翔太郎・篠 有咲・山田成美・須賀祐太・松井翔太・伊藤達哉・津川 栞・海藤太樹・尾花千春・新井山敬介・高橋 将・矢野陽介・春田博己・平田吉男・荻田都季江・平澤 豊・小林千里・加藤研郎・矢吉 守・河野孝司・松本洋子・若尾啓介・田中哲朗【警視庁】土澤星理奈・飛永 翼・石井謙信・井上大輔【法務】曾我部泰旭・齊藤泰貴【消防庁】甲斐康仁【学生クラブ】二ツ森飛鳥・阿比留宏貴・渡邊裕馬・沼尾劍士朗・今村優之・末永雄大・園田かのん・植木美和・依田 朗・平井皓之・山口芽衣・井上亮太郎・加藤諒真・栗原尚椰

東堂一貴・藤山由紗・福田敏樹・高橋和毅・木塚雅介・池松 敦・大島 光・澤邊亮太・森木大生・甲斐慈玄・荻野総大・山田 満・百田尚史・加藤歩夢未・笠井章雄・木内健太郎・生出萌音・宮川竜弥・桑原佐和・藤野友輝・真野晴仁・井出祐樹・川嶋健也【フランス】Caroline DRENEAU

【もう一息の受審者】

五段
4 5 8 13 15 39 51 55 69 74 92 98 132 143 198
205 227 239 247 254 262

四段

1 16 17 22 25 36 58 63 64 123 141 163 167 191 203
222 233 234 248 249

居合道四・五段審査会

(12月13日実施 9月27日代替)

於東京武道館

五段合格者

藤田貴志・池田摩梨子・早稲田茂高・佐々木力・村上健一・濱崎真司・ポールマーティン・阿部英夫・佐野真隆・服部良彦・橋爪 天・古川茂一・金子 孝・福村 貢・福田哲夫・滝瀬 徳・横山貴一

四段合格者

岸野琢真・河井彩夏・鈴木琢由・
中谷 智・河村豪祐・飯田英輔・
露木美佳・古澤 豪・宮崎聖弘・
宗像敏明・吉森裕次・井上 隆・
島田和彦・原誠一郎・白竹 潔・
吉宮隆彦・深瀬慎雄

「もう一息の受審者」

五段
11 27 28 30 36

四段

1 2 7 14 15 24 26

杖道四・五段審査会

(3月13日於東京武道館)

五段合格者

杉山航大・関塚直貴・中川 修

四段合格者

幕田龍輔・早坂明哲

「もう一息の受審者」

五段

4

四段

2

居合道四・五段審査会

(3月6日実施 3月20日代替

於東京武道館)

五段合格者

玉光美咲・矢崎貴紀・梶谷忠志・
濱田洋子

四段合格者

佐藤 平・雷 衍亭・石垣雄太朗・
久我航太・小森真樹・鍋島祐一・
長谷川奈保子・石部素平

「もう一息の受審者」

五段

8 9 17

四段

1 2 6 8 14 18 24 28





「生涯剣道」と 「お口の健康管理」 ④

岡本 徹

はじめに

「お口の健康管理」について、健康寿命の延伸とのかかわりを中心に考え、「生涯剣道」を目指すうえで参考にするというコンセプトで、今回は「口内フローラ」・「口腔ケア」・「8020運動」について書かせていただきました。今回はその2回目となります。

「フレイル」

昨今「フレイル」という言葉が盛んに使われていますが、ご存じでしょうか。「フレイル」とは、海外の老年医学の分野で使用されている英語の「Frailty（フレイルティ）」が語源となっていて、日本語に訳すと「虚弱」「老衰」「脆弱」などの意味になります。厚生労働省研究班の報告書では「加齢とともに心身の活力（運動機能や認知機能等）が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態である。が、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態像」とされています。高齢者の多くが「フレイル」を経て、徐々に要介護状態に陥ると考えられることから、早期に発見して対応することによって、要介護になる方を減らし、健康寿命を延ばすことができると考えられています。

そして「フレイル」には「身体的フレイル」だけではなく、「社会的フレイル」（独居、閉じこもり、貧困等）や「心理的フレイル」（認知機能障害や抑うつ等）といった要素も含まれています。

「オーラルフレイル」

「フレイル」が全身に関連する言葉であるのに対して、「オーラルフレイル」という言葉は、東京大学高齢社会総合研究機構の飯島勝矢教授らによって提唱された「お口の機能低下」を表す新しい考え方で、「お口の機能の虚弱」を意味します。具体的には、「呂律が回りにくい」「滑舌が悪くなった」「食べこぼしがある」「むせる」など、日常のちょっとしたお口の機能がささいなレベルで低下してきた状態といえます。この「オーラルフレイル」は、加齢などによるサルコペニア（筋力減弱症）やロコモティブシンドローム（運動器症候群）の前兆とも考えられていて、全身の「フレイル」を引き起こす重要な要因の一つです。また、歯周病やむし歯やお口の機能低下などが、「オーラルフレイル」の発症・予防に大きく関連していて、より早期からお口の機能を維持向上させることが大切とされています。

加齢とともに噛むことや飲み込むことなどの口腔機能が低下すると、硬い食材が食べられなくなったり、むせたりすることがみられます。硬めの食材が食べにくくなり、柔らかいものばかりを選んで食べていると、ますます噛む機能が低下して食事の質も低下してしまいます。そして、飲み込みに関連する筋力や機能の低下が起こると、食べたものや飲んだものが細菌と一緒に誤って気管に入ってしまうようにもなります。それが原因となる誤嚥性肺炎が増えていて、死亡原因にもなり大変危険です。ただ、こうしたお口の機能低下は、リハビリによって回復できる可能性が高いといわれています。ムセなどがみられたら、お口の機能の維持のために「口腔の体操」「唾液を出しやすくするマッサージ」「パタカラ体操」「頭上げ体操」などを行いましょう。これらは日本歯科医師会のHPの「口腔体操」のコーナーに詳しく書かれていますのでぜひご覧ください。そして、やはり、定期的に歯科検診を受けてお口の機能の低下を予防するこ

とが大切です。

「剣道とのかかわり」

こうした「フレイル」と「オーラルフレイル」予防(対策)のため、すなわち健康長寿を目指すための柱は、「身体活動(運動など)」と「栄養(食・口腔機能)」と「社会参加」の3つに集約できるのですが、「剣道」はまさにうってつけだと思われまます(コロナの影響で今は少し難しくなっていますが)。

まず、日々、普通に稽古することは、「身体を動かす」「大きな声を出す」ことで、正に肉体や喉や心肺能力などを鍛えることにつながります。剣道具を付けた稽古以外で、自宅などでの素振りやトレーニングを行っている方も多いと思われまますが、そうした日々の鍛錬・努力がそのまま「身体的フレイル」の予防を実践していることとなります。

そして稽古を行うには(身体を動かすには)それなりの筋力が必要で、そのために、しっかりとした食事を摂って、栄養不足にならないということも自然とできていられると思われまます。

また、稽古中、「精神を集中する」「気を充実させる・高める」「呼吸を意識することなどや、「相手をよく観察する(観の目・見の目)」「相手の動きを予測する」「間合いを考える」ことなどは「心理的フレイル」の予防に有効と考えられます。

更に、ひとり稽古も出来まますが、多くの場合はお相手がいらして複数での行動となりますので、ひとりで家に籠りっぱなしということにならず、他の人との社会的な交流が自然と行っていることになります。また、稽古のあとのいわゆる「第2道場」での「剣道談義」も、人と話すことで社会的な交流にもつながり「社会的フレイル」予防に、正に適しているといえます(これも今は難しいですが)。

そして、試合や審査も、「目標がある」「緊張感がある」「向上心を持ち続ける」ということなどもあって、大いにプラスになって

いるのではないでしょうか。

おわりに

「運動」・「社会参加」・「栄養」(お口の健康管理と機能の維持・フランスの良い食事)の3つを維持することが「フレイル」「オーラルフレイル」の予防になり、健康長寿につながるといえます。特に、人とのつながりや生活の広がり、誰かと一緒に食事するなどといった「社会性を維持すること」が、その人の活動量、精神・心理状態、お口の機能、食・栄養状態、身体機能など多岐にわたる健康分野に関与することが明らかになっていまます。「フレイル」「オーラルフレイル」に陥ることなく、いつまでも健康的な生活を送り、継続的に稽古に励んで「生涯剣道」を目指していただければと思いまます。

プロフィール

氏名	おかもと とおる
年齢	59歳
出身地	兵庫県
出身学校	東京医科歯科大学歯学部
経歴	昭和61年 東京医科歯科大学歯学部卒 平成2年 岡本歯科医院勤務 平成27年 岡本歯科医院院長 平成23年 25年 東京都大田区大森歯科医師会会長 平成27年 東京都歯科医師連盟専務理事 平成25年 東京医科歯科大学剣道部監督 平成27年 鶴の木剣友会会長

<https://unoki-kenyukai.com/>

座右の銘
平成29年 大田区剣道連盟常任理事
令和2年 全日本歯科医師剣道連盟理事長
剣道教士七段
継続は力なり

コロナ禍の大会

居合道部会

会長 伊藤 繁男

令和2年度の事業計画は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くが中止となりました。その中で、令和元年度の審査会が一部中止されたために生じた年度間の不公平を解消するため、「東京都剣道連盟審査会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」の遵守を徹底し、四・五段及び三段以下審査会・級位審査会に限って、前年度未実施代替分も含めて全て実施しました。

令和3年度においては、既に中止又は延期の事業が続くなかで、「第57回東京都居合道大会」のみ制限をつけて事業計画とおりに実施しました。2年ぶりの大会は従来とは内容を変え、「全剣連創立50周年記念杯争奪戦」と銘打つ地区対抗団体戦を主とし、個人演武は団体戦の審判員を務めた七段・八段の会員に限定して参加人員を抑えました。結果、昨年度の審査会運営で積んだ経験を活かし、「コロナ禍」での制限された係員・参加者の中で、三密の回避と的確な人流を作る大会運営とはどのようなも

のか、その一端を知る事ができました。これは本年度に予定される「全日本居合道大会」東京都開催に向けて、主管連盟として大切な経験を積むことが出来たと関係者一同感じております。

令和3年度における最重要事業として、大会開催地の固定化及び大会運営の簡素化を旨とする「第56回全日本居合道大会」の東京都における開催があります。前回東京都で開催された第51回大会（平成28年）とは大幅に大会運営が変わる予定ですが、多くの会員が係員として参加した前回の経験を活かして、今回は大会を簡素化した、運営の在り様を目指したいと思っております。

新型コロナウイルスワクチン接種の開始を機に、感染症の早期収束が期待されるなか、居合道部会は「感染拡大予防ガイド



開会式

ライン」の遵守を徹底しつつ、日程や人員・会場など柔軟に対応して、事業計画の確実な実施を目標に尽力して参ります。

杖道部会新会長として

東京都剣道連盟杖道部会

会長 釣賀 敏郎

この度令和3年5月15日に、杖道部会理事総会を経て東京都剣道連盟杖道部会の会長に就任いたしました。身に余る大役を仰せつかりましたが、部会会員皆様の暖かいご支援、ご協力により杖道部会発展に全力で取り組んで参りたいと存じます。微力ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

東京都剣道連盟に杖道部会が発足いたしましたのは昭和54年4月のことです。初代会長には全日本剣道連盟への加盟の決断をし、全日本剣道連盟杖道形の制定等甚大な功績を残された清水隆次先生が就任されました。その後二代目棚谷昌美先生、三代目米野光太郎先生、四代目松井健二先生へと、清水先生の遺志が受け継がれて参りました。その諸先生方が築いてこられた当杖道部会の会長に就くことは、時代の変遷とはいえ身の引

き締まる思いであります。

部会は「杖道」を通じて「剣道理念」の実現を目指し、三道（剣道・居合道・杖道）の一翼を担うべく事業を推進して諸活動に取り組んで参りますが、杖道においては、まだまだ全国的に認知度が低く、剣道のように少年及び学生剣道から始める者は少なく、大半は大人になってから始める方が多く、普及には苦勞しているのが現実です。

部会の最大の目標は正しい全剣連杖道の普及、杖道会員数の増加であります。今後の部会運営は従来の方針を踏まえつつも少子高齢化社会の中に如何に若い世代の杖道人口を増やしていくか、また杖道は高齢者、女性を取り組みやすい局面をもっており間口を広くして取り組みやすくし生涯武道としての環境作りを推進していくなど喫緊の課題に杖道部会一丸となり取り組んで参りたいと思っております。

現在もコロナ禍で厳しい環境にはありますが、東京都剣道連盟のご指導ご協力を仰ぎ、この環境だからこそできることを精いっぱい努力して前へと進んでいく所存でございます。

皆様のご理解、ご協力、ご指導のほど重ねてお願い申し上げます。

支部活動報告

活動と指導方針について

台東区剣道連盟

理事長 倉澤 正

台東区剣道連盟は昭和21年に多くの先生方の努力によって創設され、数々の歴史を得て本年75周年を迎えます。現在加盟団体は17団体、登録会員数は約600名を擁します。

さて当連盟の主だった事業は、6月の連盟主催の大会（個人戦・団体戦）、8月の墨田区との姉妹区対抗戦（小学生から高齢者まで）、10月の区民体育祭剣道大会（個人戦）などのほか、級審査会、三段以下審査会（千代田区との合同）、4区合同稽古会（千代田区、中央区、文京区）などを行っています。

当連盟の目標とする大きな三つの柱は、少年少女剣道への指導育成の強化、指導者の指導法、審判法などの技術の向上、女子剣道の充実であります。少年少女の指導は日頃の各支部道場で

の指導のほか、東京都の「ジュニア育成地域推進事業」を活用して、初心者講習や木刀による剣道基本技稽古法、試合の礼法



デンマークの高校生との交流稽古会

などを指導しています。指導者の技術の向上については、八段の先生方による指導法や審判法の講習、若手稽古会を催しての相互研究を推進しています。女子剣道の充実については、連盟主催で月に1回女子稽古会を行っています。三つの柱の推進には指導者の心構え、めざす方向性が大切です。

今社会はグローバル化の流れの中にあり、日本の武道は柔道を始めとして空手など国際化が進み、剣道もまたその道を辿ります。それは良い一面もありますが懸念しているのは変質、あるべき姿の喪失です。剣道の深い精神性が理解されず、勝負至上主義に陥っては剣道という日本の素晴らしい精神的文化や、美しい所作などは守れません。当連盟では正しい心にこそ美しい剣道を実践できるといふ心構えで、稽古の研鑽を積み、少年少女の指導者、指導者の育成を

進めていきたいと考えております。

一方、連盟の75年の歴史の重みがあるにせよ、今の時代にそぐわない習慣に縛られている組織であり続けなければ若い人たちは剣道離れしてしまいます。世代交代をにらんだ組織の見直しが必要だと考えています。

2年にも及ぶコロナ禍の中、私たちは満足に稽古ができませんが、日頃当たり前のように稽古が出来たことが、実は当たり前でなく、とても感謝すべきことであつたと気が付かされました。今後はその感謝の気持ちで以てさらなる連盟の発展をめざしたいと思っております。

当連盟の稽古会は毎週金曜日の夜、第二金曜日は女子稽古会、第三金曜日は指導者の合同稽古会を行っています。



連盟会津遠征 会津剣連の皆さんと

「正しく修練、正しく伝承」

江戸川区剣道連盟

理事長 富永 哲雄

本連盟では「正しく修練、正しく伝承」を心掛けて日々活動しています。

本部稽古として総合体育館とスポーツセンターで指導責任者の下、指導の統一化を図ってお

ります。又、青年部や女子部を設け技量向上を目指しています。

日曜日には師範である中田瑠士範士より日本剣道形や木刀による剣道基本技稽古法の指導をいただいています。その後の稽古も最初に必ず基本稽古を行い、それから地稽古を行っています。

基本を正しく修練していく中で、その成果として昇段審査会での合格者が増えています。特に六・七段の合格者が増え、女性剣士の昇段も目覚ましいものがあります。

少年剣道育成にも注力しており、毎月少年剣道強化稽古会を開き本部稽古同様に指導責任者を置き、各支部・中学校の指導者に指導の統一を図っています。

小学生と中学生に分け、木刀による剣道基本技稽古法と基本稽古を中心に指導して、参加者の中から東京都少年剣道大会の選手を選考して、その成果は大会に反映されています。

この稽古会を通して正しく剣



令和元年度墨東五区大会

りました。

緊急事態宣言中は稽古を中止していましたが、解除期間に一級・三段以下審査会、講習会を開催しました。

審査会は感染拡大予防ガイドラインに沿って行い、講習会は中田範士の指導の下、最小限の人数でコロナ禍での暫定的な試合・審判法と指導法を短時間でありましたが、行う事ができました。

一日も早く通常の連盟活動や稽古が出来る日が来る事を心から願うばかりです。

新たな発展のため、耐える今

中野区剣道連盟

副理事長 福井 俊之

中野区剣道連盟は、昭和27年に設立されました。正しい剣道の普及・発展に努め、剣道人口の拡大と定着を目指し、70年を迎えようとしています。

本来の主な行事としては、小学生から大人まで各部で熱戦が繰り広げられる、春の団体戦と

道を修練して後世に伝承して行く人材育成を目指しています。現在、世界中でまん延している新型コロナウイルスの影響により、昨年度は区民大会をはじめ大半の事業が中止・延期とな



中野剣道祭 開会式

秋の個人戦があります。また、年2回、級位と三段以下の審査が行われ、特に級審査の前には「木刀による剣道基本技稽古法」を細かに指導しています。さらに、技術の向上と上位大会での活躍を期して、原則月1回の合同稽古を行う他、青年部・女子部を設け、共に大きな成果をあげています。

他には、中学校の「武道の授

業」に外部指導員を派遣し、幼稚園での剣道指導にも取り組み、底辺の拡大にも努めています。昨秋、キリンレモンスポーツセンター内の新道場に拠点を移し、更なる発展を期しています。

しかし、昨年来のコロナ禍による度重なる緊急事態宣言等の影響のため、大会や級位・段位審査会の中止や延期を余儀なくされ、連盟としての活動は、ほとんど行われていない。活動休止状態に追い込まれています。傘下の団体で、公立の学校等を稽古場としている所では、この1年ほとんど練習ができないう状況に追い込まれている他、リモート利用による素振り等の練習で辛うじて活動を続けている場合も見受けられています。

対人稽古ができていない場合でも、マスクにフェイスガード着用の息苦しさや、発声を制限されることから、気迫にやや欠ける稽古になるなど、従来通りとはいかない状況です。

これに伴い、稽古数の減少、技術の伸びの停滞などから会員

減をまねき、道場の運営にも支障をきたしているとの声も聞かれるなど、1日も早くコロナが静まり、通常の世の中に戻ってほしいものです。

最後に、中野区剣道連盟は、創設以来、少年からは会費を徴収せずに活動している点は自負するところです。

心をついに未来へ繋ぐ

西東京剣道連盟

会長 宮林 高夫

今、世界全体が新型コロナウイルス感染症の蔓延という未曾有の事態のただ中にあり収束に向け闘っています。我が国においてもワクチン接種が本格的に始まっています。

西東京剣道連盟においては、令和2年度当初から稽古会・大会・審査会・講習会等あらゆる活動が感染防止のための施設使用制限等の影響を受け、中止や延期を余儀なくされる事態が続いています。

加盟27団体やその構成団体の



ブロック講習会 (エスフォルタアリーナ八王子サブアリーナ)

活動においても同様に厳しい状況が続いています。

このような中、幸いにも令和2年度の三段以下審査会日程の延期について弾力的な対応が可能になったことから、前期分・後期分の2回の審査会を実施することができました。

審査会の実施に当たっては、全日本剣道連盟および東京都剣道連盟の審査会ガイドラインの

支部活動報告

徹底を図るため、加盟団体との連絡調整を徹底して行うとともに多くの役員・会員の協力を得て、通常の2倍の役員・係員態



ブロック講習会（エスフォルタアリーナ八王子サブアリーナ）

勢とし無事に実施することができました。加盟団体やご協力をいただいた役員・係員各位に紙面をお借りして心からの感謝を申し上げます。今回の経験は他の事業を実施する際にも生かすことができる貴重な財産になりました。

平時の西東京剣道連盟の活動は、大きく分けて次の4つの事業を行っています。

一つ目は稽古会です。毎回参加人数が150人前後になる加盟団体を巡回し毎月実施している合同稽古会があります。また男子・女子・剣道形強化を定例で実施しています。

二つ目は各種大会です。男子および女子の選手権の他、小・中学生・一般男子・女子それぞれの団体および形大会を実施しています。また、東京都剣道連盟国体選手選考会の出場選手を選考する予選会も実施しています。

三つ目は審査会です。前期と

後期年2回の三段以下審査会を実施しています。また、加盟団体が実施する一級審査会へ登録審査員を派遣しています。

四つ目は講習会等です。前期と後期年2回のブロック講習会の他、登録審査要員等剣道研究会、女子審判講習会、八段受審者講習会を実施しています。

西東京剣道連盟の登録会員数は5000人程度で推移していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が始まった令和2年度の登録会員数は対前年度比400人強の減となりました。

令和3年度は登録会員の減少傾向に歯止めがかけられるよう加盟団体では創意工夫し会員との連絡を絶やさず可能な限りの活動を継続しています。

平成27年の創立50周年以降、次の半世紀に向けた活動も6年目になります。

新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況はまだまだ続くと思いますが、今後も会

員一同、心一つに未来に向けて活動が継続していけるよう日々取り組んでまいります。

大会案内

創立70周年記念

寛仁親王杯

第21回剣道八段選抜大会

日時：令和3年9月4日(土) 午前9時45分開会

場所：東京武道館 主催：東京都剣道連盟

創立70周年記念

第60回東京都剣道選手権大会

日時：令和3年9月4日(土) 午後2時開会

場所：東京武道館 主催：東京都剣道連盟

東京武道館

東京剣連だより

第90号(令和三年八月二十一日発行)

発行人 千葉 胤道

発行所 東京都剣道連盟

〒1050004

東京都港区新橋四ノ二十四ノ二

TEL 〇三五四〇五二一六六

FAX 〇三五四〇五二一六八〇

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>

編集長 西山 貢

編集委員 松本高明・小沢 清・木原敏明

目黒 秀治

印刷 株式会社マルチプレス

本誌の掲載記事の無断掲載および複写を禁ずる

連盟案内

東京都剣道連盟の

ホームページ(HP)をぜひ、ご覧下さい

フレッシュな情報を提供しております

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>

東京剣連・東剣連でも見ることができます